



★定時上映 4月22日(土)～7月9日(日)の土日祝

テーマ番組

「春はあけぼの ～人々が眺めた星空～」

時間や場所にとらわれず、散歩するように夜空を紹介しします。清少納言の時代の星空、古代エジプトでは明け方のシリウス、人々はどんな星空に魅力を感じてきたのでしょうか？ 時と場所を超えた星空を再現しながら、星空の魅力を語ります。

星空解説「今夜、なにがみえるかな」2023 春

寒さも和らぐ春。草木は芽吹き、農業も始まります。その星空に古の人々は神話を描き、物語を伝えてきました。春を代表する星座でもあるおとめ座は、農耕の神としても伝わります。そんな星々や星座を紹介していきます。

☆土日祝日の上映時刻

テーマ番組 10:00～/ 13:00～/ 15:00～
 星空解説 11:00～/ 14:00～/ 16:00～
 テーマ番組、星空解説ともに約 20 分

- ・定員：各回先着 50 名（上映 1 時間前から発券）
- ・費用：高校生以上 100 円（中学生以下無料）

☆平日のみ団体上映を受付

（2 日前までに要予約。ただし、休館日を除く）

★星空たんけん観望会

ハイアマチュア望遠鏡&テレビ観望！

「月とおとめ座と春の大曲線」

日時：5月27日(土)

19:00～20:30（受付開始 18:45～）

費用 100 円（中学生以下無料）

持物 懐中電灯（赤色灯推奨）

定員 50 名（小学生以下保護者同伴）

申込み 5月17日(水)～5月26日(金)までに水の館

Tel.04-7184-0555



手賀沼周辺のイベント情報

★Enjoy 手賀沼! 2023

～遊びつくせ、沼が主役の新時代～

日時:5月14日(日) 9:00～15:30 ※雨天決行（一部変更あり）

場所:手賀沼親水広場 水の館/鳥の博物館

当日、鳥の博物館・水の館プラネタリウム入館無料

【お問合せ】我孫子市手賀沼課 Tel.04-7185-1484

実行委員会（前日・当日）Tel.xxx-xxxx-xxxx

メール enjoy@tegado.com

http://abiko-city.jp/enjoy-teganuma/



★「遊覧船で手賀沼について学ぼう！」

我孫子市のシンボル・手賀沼を遊覧船から眺めてみませんか？

手賀沼の歴史と現状、生き物についてガイドいたします。

日時：6月3日(土) 10:30～ ※雨・強風は中止

（60分、受付は15分前～）

集合：手賀沼公園「ボートセンター小池」前

対象：どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

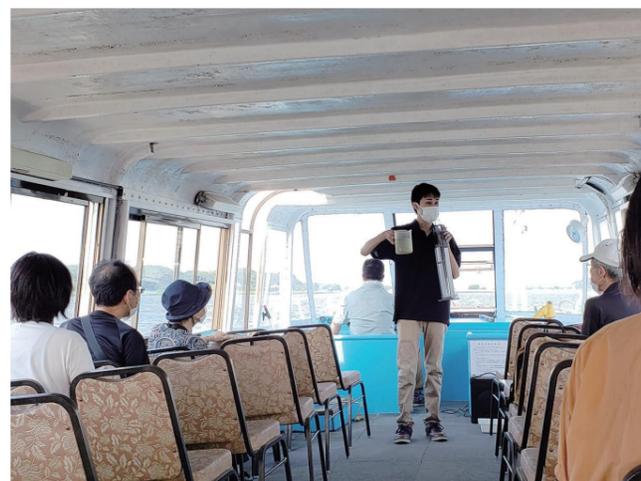
定員：各回 30 名（要申込）

費用：無料

申込：5月17日(水)～6月2日(金)までに手賀沼課へ

住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡ください。

（家族、グループの場合は全員分の氏名と年齢が必要です）



今夜、なにがみえるかな

2023年度
春
Spring

先端のコアの部分が緑色に
観測された ZTF 彗星。
2022 年末から 2023 年 2 月頃
まで観測されたうなあ！

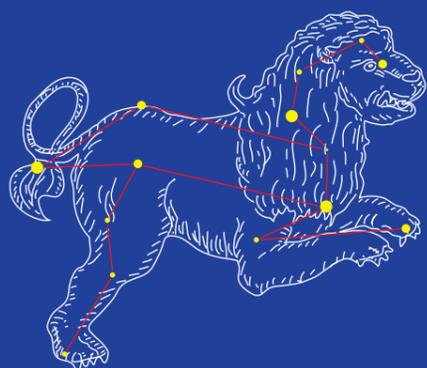


我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなぎちゃん

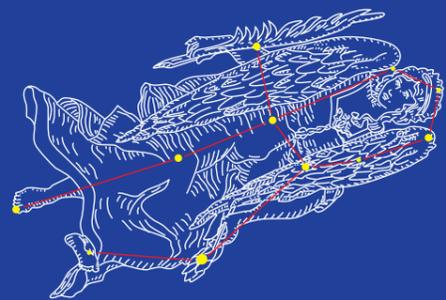
ZTF 彗星

星座の物語 春に見られる黄道12星座

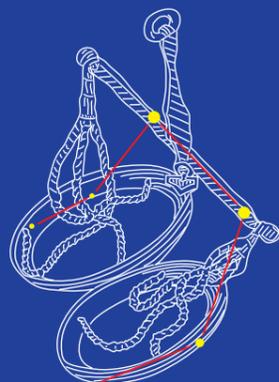
星占いで使われる12個の星座は黄道12星座と呼ばれています。ここでの黄道とは、地球からみて太陽の通る通り道のこと。この方向にある星座は特に重要であると考えられていました。季節ごとに見やすい星座は移ろっていきます。春に見えやすい3つの星座を紹介しましょう。



しし座



おとめ座



てんびん座

勇者ヘルクレスの冒険で、最初の相手がメネアー谷にいた化けライオン退治でした。しし座に描かれているのは、その化けライオンだと神話では語られています。手賀沼周辺で見られる星をたどっても、きれいにライオン(しし)の形に星を結ぶことができます。冬のオリオン座、春のしし座と見つけやすい星座から楽しんでみましょう。

おとめ座には、いくつもの女神の姿が重ねられています。農耕の神「デーメーテル」や正義と平和の神「アストライア」、また「ペルセポネ」は春の女神ともいわれています。全天には88個の星座がありますが、おとめ座は2番目に大きな星座でもあります。

てんびん座の由来は、正義をつかさどるアストライアの持つ天秤だと言われています。善と悪を判断し、世界を平等に導く役割を担っていました。3等星が集まる、あまり目立たない星座ですが、隣のおとめ座とさそり座を目印に探してみるといいでしょう。

天文イベント

4月20日(木) 金環皆既日食

金環皆既日食とは、一度の日食で金環日食と皆既日食を見ることができる日食です。ある場所では金環日食になり、別の場所では皆既日食。そしてその周辺で部分日食として見られます。非常に珍しい日食で100年間で4、5回しか見るチャンスはありません。21世紀中には今回も含めて5回だけです。ただし見られる場所がインド洋や南太平洋の海上が多く、千葉県では房総半島の先端部分で、ほんの1%程度欠ける部分日食として見るができます。

5月6日(土) 満月・半影月食

2022年11月は皆既月食が見られましたが、今回はわずかに半影が月にかかる半影月食となります。見た目の月が欠けていくことはなく、地球の薄い影が満月の明かりを少し落とす程度になります。



二重星を楽しもう

北斗七星の柄の先端から二つ目の星がミザールです。目のいい人が、この星を見ると二つ星がとても近くで輝いていることに気がつきます。視力が1.0程あれば二つに見えると言われ、かつては視力の検査にも使われていました。双眼鏡や望遠鏡で見るとはっきり見ることができます。

6月4日(日) 金星が最大離角

離角とは、水星や金星が太陽から離れて見られる角度のことです。最大離角の頃は、太陽が沈んでも高い高度で金星を見ることができます。金星は夕方西の空に明るく見え、そしてすぐに沈んでいくという印象があります。ただ夏至近くに最大離角を迎えるため、夜の22時頃まで明るい輝きを見ることができます。そしてマイナス4.5等前後と、とても明るく輝きます。

星空ギャラリー

水の館プラネタリウムの入り口奥にある番組テーマに沿った展示スペースです

人々は星空に星座の絵を描き、星々を見つめながら物語を紡いできました。描かれてきた星座絵や物語を紹介するとともに、星の物語や天文学を広く伝えることに役立った書物も展示します。



ランデ暦書



神話を伝える本



星空紹介コーナーの星座は※マークが付いています。

国立天文台

2023年5月中旬 21時頃
東京の星空

天文ニュース 日本人宇宙飛行士候補が選抜!

2023年3月1日、宇宙研究開発機構(JAXA)から2名の宇宙飛行士候補を選抜したと発表がありました。宇宙飛行士の募集は1983年に初めて行われ、今回の選抜は14年ぶり6回目のこととなります。選ばれた諏訪理(すわまこと)さんは過去最年長の46歳。一方、米田あゆさんは28歳と過去最年少でした。今後二人はNASAでの訓練を受け、将来的には月面探査の「アルテミス計画」にも参加していくことになります。

星空ミニクイズ

長期間に及ぶ訓練を経て宇宙に行く時代から、旅行感覚で宇宙を目指す時代へと変わりつつあります。今後、宇宙を訪れる人は飛躍的に増えてくることでしょう。2022年末時点で、日本人で宇宙に行ったことのある人は何人でしょう?

- ① 8人
- ② 14人
- ③ 22人

答えは水の館3階、プラネタリウム前のスタンプコーナーで説明しています。

2023年度春のスタンプ

スタンプはプラネタリウムの前にあるよ